

札幌市教員育成指標【養護教諭編】

(平成31年2月19日策定)
(令和8年3月1日一部改定)

求める教員像	観点	ステージ	【養成段階】	ステージ1 【基礎形成期】	ステージ2 【向上・充実期】	ステージ3 【深化・牽引期】		
			札幌市が求める教員人生スタート時の姿	養護教諭として必要な基礎的知識や技能を学び、実践を積み重ね、基礎を固める。	養護教諭としての専門性を高め、チームとしての取組を推進するとともに、学校保健活動のリーダーとしての資質を磨く。	豊富な経験を生かして、全校的な視野に立ち、学校づくりの中心的な役割を果たし組織的な運営力を高める。		
			【保健室中心】	【校務分掌等】	【学校全体】			
教員 教育者として、深い教育的愛情を、常にもち続けている	教職の素養	使命感・責任感・倫理観	●教育者として、崇高な使命を深く自覚し、強い責任感や法令遵守の精神、高い倫理観をもっている。					
		情熱・教育的愛情	●札幌を理解し、愛着をもつとともに、教職への誇りと情熱、子どもへの深い教育的愛情をもっている。					
		人間性・コミュニケーション	●豊かな人間性や広い視野、人権尊重の意識をもち、コミュニケーションを図りながら、同僚性を高め、他者との信頼関係を構築している。					
		学び続けようとする意欲	●常に自己研鑽に努め、向上心をもって主体的に学び続けている。					
札幌市学校教育の基盤		人間尊重の教育の推進 (子ども一人一人が自分が大切にされていると実感できる学校づくり)	子ども一人一人を大切にすることを理解し、子どもの可能性や活躍の場を引き出す実践を学ぼうとしている。	「子どもの声を聴くこと」を大切にしながら、子どもとの信頼関係を構築するとともに、同僚と協働することで子どもの可能性や活躍の場を引き出す取組を実践している。	全ての教育活動において子ども一人一人の困り・思い・願い等に向き合うとともに、同僚性を発揮しながら、子どもが自分のよさや可能性を実感できるよう、互いに認め合える取組を実践している。	園・学校だけではなく、地域全体で「子どもの声を聴くこと」を大切にしながら、組織的に「人間尊重の教育」の理念に基づいた取組を推進している。		
教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に主体的に取り組む教員	学校保健の推進	保健教育	学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実践しようとしている。	学級担任等と連携し、子どもの課題解決に向けて、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実施している。	学習指導要領や子どもの健康課題に基づき、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実践、評価、改善し、効果的・計画的に推進している。	保健教育の全体計画の立案に積極的に参画し、実践、評価、改善を通して、カリキュラムマネジメントの充実を図っている。		
		保健管理	学校保健安全法を理解し、子どもの実態把握の必要性を認識し、実践しようとしている。	医学の進歩やICTの導入等の変化に柔軟に対応するとともに、子どもの実態や発達段階を踏まえて、自校の健康課題を把握し、適切に対応している。	把握した健康課題の解決に向け課題提起を行い、保健情報を効果的に活用し、校内での連携と併せて積極的に専門家の協力を求めるなど組織的に対応している。	事件事故や災害に備えた救急体制や心のケアの支援体制を整える等、学校運営に参画したり、校内外の様々な関係者、関係機関との連携を構築したりしている。		
		健康相談・保健指導／生徒指導	子ども理解	健康相談・保健指導の重要性を認識し、子どもと積極的に向き合おうとしている。	健康相談の基本的なプロセスを理解し、現代的な健康課題との関連を踏まえながら、子ども一人一人の状況や背景を理解し、適切に向き合っている。	子どもの心身の健康課題や諸問題とその背景を、広い視野から捉え、深く理解し、寄り添った対応をしている。	養護教諭としての専門性を生かしながら、子どもの問題に対して効果的な手立てを講じ、迅速で組織的な対応をしている。	
			子どもへの指導	健康相談・保健指導の重要性を理解するとともに、個や集団を指導する手立てを理解している。	子どもとの良好な信頼関係を築き、個々や場面に応じた保健指導や生徒指導をしている。	子どもの心身の健康課題や諸問題を総合的かつ的確に捉え、組織的に継続的な保健指導や生徒指導をしている。	子どもの問題について、的確なアセスメントを行い、適切な保健指導や生徒指導を組織的かつ計画的に推進している。	
			組織的な対応	健康相談・保健指導と生徒指導の関連性について考え、組織的な対応の重要性を理解し、実践しようとしている。	家庭や教職員をはじめ、学校医、SC、SSW等を含めた校内組織で情報を共有し、健康相談と生徒指導を関連させながら適切に指導している。	校内組織による支援体制の充実にも努めるとともに、関係機関と連携しながら、適切に課題解決している。	家庭や校内外の様々な関係者、関係機関と連携して組織体制を整え、迅速かつ適切に課題解決している。	
		教育課題への対応	特別支援教育に関する専門性	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性について学ぼうとしている。	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育に関する専門性についての知識を更新し続けている。			
			特別支援教育に関する指導力	子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援、指導について認識し、組織的な対応等の実践を学ぼうとしている。	教師間の連携を図りながら、適切に学習上・生活上の支援・指導の工夫をしている。	教師間の連携を密にしながら、子どもの教育的ニーズをきめ細やかに見取るとともに、必要な支援や適切な指導に努めている。	学校全体における組織的な対応の中心的役割を担い、全ての教職員が子どもの発達特性等を踏まえた支援・指導ができるよう適切な助言等を行っている。	
			ICT活用指導力	情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、保健管理等にICT機器を適切に活用しようとしている。関わる子どもの健康問題に取り組もうとしている。	ICT機器を効果的に活用して健康情報のデータを管理・分析し、結果を保健教育・保健管理に活用している。校内でそれらの共通理解を図り、関わる子どもの健康問題に適切に対応している。	保健教育の実践や、校内研修での資料の作成や提示において、ICT機器を効果的に活用し、学校における健康課題の解決を図っている。	ICTを効果的に活用した校内外の研修会の開催等を通じ、関係機関との連携を強化し、保健教育・保健管理の充実を図っている。	
		携・協働しながら、課題解決に取り組む教員	マネジメント	保健組織活動 (関係機関等との連携)	学校・家庭・地域等の協力体制の重要性を理解し、保健管理・保健教育に活かそうとしている。	保健組織活動の企画運営に参画し、家庭や関係機関等と連携して日常の実践を進めている。	家庭や関係機関等との連携はもとより、豊富にある人材や専門機関を適切に選択し、連携・協働するとともに、保健組織が主体的に活動できるように、内容の工夫・改善を図っている。	家庭や校内外の様々な関係者、関係機関等及び近隣の学校との円滑なネットワーク形成の中心となり、保健組織が子どもの健康づくりを推進している。
				保健室経営と学校づくりへの参画	保健室経営における養護教諭の役割と職務内容、学校組織・運営や校務分掌の内容について理解している。	学校教育目標を理解し、その具現化を図るために、保健室経営の方針等を立て、一貫性のある指導・運営を行っている。	校内組織の充実にも積極的に関わり、保健室経営を通して学校教育目標の実現に向けて、工夫や改善を行っている。	保健室経営や学校保健活動と関連付けて学校づくりに参画し、教育活動の活性化を図っている。
危機管理	危機管理の重要性を理解するとともに、事故発生時には危機を察知して判断と対応を行おうとしている。			安全・安心に配慮した環境について理解し整備するとともに、事故等の発生時には、適切な判断のもと、速やかに対応・報告等を行っている。	危機を予測し、未然防止に向けてリーダーシップを発揮するとともに、チームとして早期発見、早期対応を組織的に行っている。	学校安全に関わる未然防止、再発防止を組織的に推進するとともに、緊急時にはチームの中核として対応している。		
教育課題への協働的な対応	教育課題に関心をもち、協働的に行動することの重要性について理解を深めようとしている。			教育課題を把握するとともに、同僚や、地域の養護教諭と積極的に協働して課題解決に当たるよさを理解し、ともに支え合い実践している。	教育課題の解決に向け、連携の在り方や有効な手立てなどを考え、同僚や、地域の養護教諭と協働し、共に支え合い、効果的かつ適切に対応している。	教育課題の解決に向け、リーダーシップを発揮するとともに、全校的な視野に立ち、見直しをもって適切に対応している。		